
偉大な兄の言葉

tanaka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

偉大な兄の言葉

【Nコード】

N3892K

【作者名】

t a n a k a

【あらすじ】

残念なお兄ちゃんの変態的な行動を記したお話。

（前書き）

軽い変態な話ですが温かく読んで下さい。

いきなりこんな事を言うのは頭がおかしいと思われるかもしれないが言わせて欲しい。

「皆さんは目の前に可愛い妹のパンツがあつたらどうする？」

普通に考えれば、そんなオイシイ展開あるわけねえーよと思うだろう。

俺だって普通はそう思う。

てか、そんな事を言う奴が居れば、即座に死ねと言うだろう。

しかし今俺の目の前にはそんなオイシイ展開が発生しているのだ。

「やはり匂いを嗅ぐのは基本だよな」

匂いを嗅がないのは相手に失礼だと思うんだ。

え、どうせ洗っているから意味が無いだろうって？

それがどうした！ そんな事は関係が無い！ たりない部分は妄想で補完すればいい！

それに愛しの妹の顔は常に頭の中に焼き付いているんだ。何処に問題があるというんだ。

「さて、それではいただくといふようか」

「何をいただくのかな？」

「何をつて、それはお前の――」

「私の何？」

こめかみをピクピクとさせながら妹が仁王立ちで立っている。まさかの展開だ。

ああ。もう一度皆に問うていいだろうか？

この状況をどうすれば無事に脱出できるだろうか？

「その手に持っている私のパンツをどうするのか？」
しかたない。ここはもうアレしかないな。

「あーん」

「きゃあああああああつー！」

妹は悲鳴をあげながら自分の部屋へと帰って行った。

ふ……どうやら助かったようだな。

一体どんな奇跡を使ったかって？ 簡単な事さ。

文字通り妹のパンツを食べたのさ。

身体に悪いような気はしたが、確か誰かが言っていたような気がするんだ。

可愛い子のパンツは食べる物だろうて。

だから食べたのさ。

因みに味の方は最高に美味かったよ。

まあ可愛い妹が居る兄弟達も一度食べてみるといいんじゃないかな。

そのあとの関係については責任は取れないが、どうだろうか？

全国のお兄ちゃんに告ぐ。

妹は大事にしろ——以上だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3892k/>

偉大な兄の言葉

2011年1月27日10時08分発行